

ふくろう通信

第30号

2013年 7月6日

自然博物館 ねいの里



今日のふくろう先生

松崎 勇さん (富山県自然解説員)

キノコ採りはおもしろい！！

ナチュラリストを名乗って5年目になるが、「得意な分野は何ですか？」と聞かれて、「特にありません、広く浅くです。」としか答えようがないことに情けなく思っている。ところが、私が所属している「にーまる会」の一部で、私はキノコに詳しいということになっているらしい。



私がキノコ採りを始めたのは、12～3歳ころと記憶しているから50年も前になる。キノコに詳しくないとキノコ採りをできないと思っている人が多いようだが、そんなことはない。対象とするキノコだけしっかり覚えればいいので、私が採っているのもそんなに多くなく、(カッパ、イッポンシメジ、シバタケ、テゴケ) (注) 最近 (ヒラタケ、ナメコ、ムキタケ、ナラタケ) が加わった程度である。

困るのは、人から「これ食べれるがけ、食べれんがけ？」と聞かれることだ。キノコは消化が悪いので食べ過ぎるとゲリをしたり、生食やアルコールと一緒に食べると中毒したりするものもあるのだから、うかつに返事できない。

昨年、頼成の森のキノコ観察会で、私がカラカサタケだと言っていると、講師の人に同定の根拠を聞かれ、答えられずにいると、「確かな同定根拠が無いときは、安易に言うてはいけない。もし中毒が起きたら責任問題になる。」と注意された。カラカサタケによく似たドクカラカサタケという毒キノコがあり、その時も両方のキノコが採られていたのだ。私がカラカサタケだと言ったのは間違っていなかったのだが、ちょっと怖い思いをした。



最近、里山が荒れているといわれているが、私も里山の変化を実感している。キノコがたくさん採れた所に杉が植林された。残った所も木が大きくなり薄暗くなったうえにササがはびこり、だんだんキノコが採れなくなってきた。それでもヒガンバナが咲き、キンモクセイの香りが漂いだすとキノコの季節。今年の出来が今から気になっている。

(注) カッパ：サクラシメジ イッポンシメジ：ウラベニホテイシメジ

シバタケ：アミタケ テゴケ：ホウキタケの仲間

写真はナメコとカラカサタケ

私のジュニアナチュラリスト活動

ねいの里

ホォホォニュース

垣地 健太 (元 ねいの里職員)

これまでありがとう

私とねいの里との付き合いは、ジュニアナチュラリストの現地研修で初めてに来た11年前から始まりました。平成24年4月に職員としてねいの里に来て以来、行事の運営はもちろん、HPのリニューアル、ブログ・ツイッターの開設、ネイチャーコースの再検討などたくさんの楽しいことをやらせていただきました。HPやブログは、時間をかけて作成する甲斐があり、毎日多くの人達に閲覧していただきました。日々次はどのような記事を投稿しようとか、HPのトップページをどのような仕様にしようとか考えることは楽しみでした。しかし、私は平成25年6月30日をもってねいの里を去ることになり、これまでお世話になった皆様に感謝を申し上げたいと思います。7月からはねいの里を管理する財団の本部がある太閤山ランドへ転職することとなりました。私は、これからもねいの里に顔を出すつもりですので、ねいの里やその他の場所で出会った際は、よろしくお願いします。

最後に、私がねいの里を去る前に私の視点から見たねいの里のこれからのオススメを紹介します。

7月に咲くオオガハス、緑色の大きな葉にそれには負けないぐらい大きな桃色の花を付けます。そして、オオガハスの花やガマが生育しているエリア付近で見ることができるチョウトンボ。このトンボは、その名のとおりチョウのようにヒラヒラ飛び、その羽はメタリックカラーとなっており、虫取り少年から大人のカメラマンまで幅広い年代の人気者です。これら以外にも、紹介したい生き物はたくさんいます。この記事を読んでいた皆さんも、自分だけのねいの里のオススメを探してみてください。そして、私に教えてください。



オオガハスの花



チョウトンボ

活動のふりかえ

ねいの里の春見つけ 4/13

約40人の参加者が集まりました。ちびっこも多く参加していただいたので、とても賑やかで楽しい行事になりました。

ギフチョウやカタクリの花、ホクリクサンショウウオの卵やスマミレなどを観察して、炭焼きの一部を体験するため1行程に切った木を炭窯に運び入れました。その後、囲炉裏を使って五平餅づくり、ぽかぽか陽気の青空のもとで試食、美味しかったです。



(ねいの里職員：野澤和子)

新緑の里山ハイキング (5/3)

古洞の森からねいの里までの例年より倍の 6.8 ㎞のコースを家族 5 人で参加。4 歳の末娘を途中で背負わないといけないかもと覚悟を決めての参加であった。道中は吊り橋やめずらしい草花があり、のんびり歩くにはちょうどいい景色。山道に飽きてきた辺りで舗装路に出て道端のフキや山菜を探したりと子供の気を引くには持って来い。再度山道に入り登り



が続く道でチョコレートを頂き、すっかり元気。じきに見覚えのある山道になり、ついに全部あるききっちゃった☆ねいの里で頂いた朴葉寿司と竹の子のお味噌汁が最高に美味しかった。ありがとうございました。
(市村秀雄さん)

第 47 回 野鳥の園 バードウォッチング(5/12)

青空の中、ホオジロの姿や囀りに気を良くして出発。潜水を繰り返すキンクロハジロのペアに目を見張り、カイツブリやカワセミを教えて貰いました。林の中に入るとヤマガラやシジュウカラの声が聞こえました。夏鳥のキビタキやセンダイムシクイ等の声も聞こえてくるのですが、姿を見つけることは出来ません。次回には是非見てみたいものです。今回の観察会で確認された鳥は 30 種でした。
(ねいの里職員：野澤和子)



竹アンドンづくりとヘイケボタル鑑賞 (6/22)

7 時 30 分では、うす暗くなってもまだ明るかったのか、ホタルがなかなか光らず今年の蛍はすくないのかなと思いました。足元が見えなくなった 7 時 45 分頃、炭焼き小屋に行く階段下の水辺でヘイケボタルを 1 匹見つけました。直後、その近くで 2 匹目が光り出しました。3 匹目は、目の前を飛んでいたホタルが草にとまったので触って手に取ると体が大きいゲンジボタルでした。ゲンジボタルは体だけではなく発光体も大きかったです。手に取ると素早い動きで走りまわり、すぐハネを広げて飛ぼうとしました。ゲンジボタルは 2 匹いました。2 匹とも上に向かって飛び頭上の木の葉っぱにとまりました。その後、辺りが真っ暗になった頃、水辺にはたくさんのヘイケボタルが次々と光っていました。今年もホタルの光はきれいでした。水辺や道のランタンに火を入れる手伝いをしました。帰り道は幻想的でした。



ねいの里でのヘイケボタル鑑賞の僕の楽しみはもうひとつあります。それは、炭焼き小屋の周辺のクワガタ探しです。今年はスジクワガタのオスとメスとコクワガタのオスを見つけました。辺りが暗くなるまでの時間に散策すると、モリアオガエルの卵を見たりカエルを見つけたり、色々な虫や鳥の鳴き声がします。6 月 29 日も行こうと思います。

(J r ナチュラリスト 池井歩夢)

森の力 de リフレッシュ (6/30) (ねいの里職員：平野妙子)

五感を活かす試みとして、森林浴モードで実施しました。ラベンダーバンドルズ等のクラフト体験やのんびりウォーク、セラピー弁当など。リラックス効果で血圧の変化が見られました。



ぼくは去年の夏、ジュニアナチュラリスト養成コースを受講しました。そこでは、参加した仲間とともに昆虫採集をしたり、生き物について学んだり、新しい発見がたくさんありました。そしてぼくの今までの経験のなかでも、深く心に残る体験となりました。ジュニアナチュラリストの認定証をいただいたときは、とてもうれしかったです。

このコースを受講した後も、もっと生き物のことを知りたい！生き物に関わっていたいと興味が尽きず、いろいろな行事に参加しました。

その中でも特に印象に残っているのは、「冬の生きもの観察と動物の恵みに感謝」という行事です。この行事では、シカを解剖して、その体を知り、実際にシカ肉のスープを試食しました。初めての体験だったのでわくわくどきどきして、また初めての光景をおもしろいなあと思いました。でも…臭いが少し苦手でした。

ねいの里での体験や講和を通して、僕はいつも目にする虫や鳥や野良ネコなどがとても大切なんだと改めて感じています。無駄な生きものなんて何一つないので、地球上に生息する全ての生き物たちが、いつまでも暮らしていける地球であってほしいです。

ねいの里行事案内 (ねいの里ホームページで活動紹介しています。)

- 7月28日(日) 9:00 ~ 13:00
トンボの調査と標本作り 場所 ねいの里展示館集合
- 8月24日(日) 18:30 ~ 20:00
秋の鳴く虫観察 場所 ねいの里展示館集合
- 9月16日(日) 9:30 ~ 13:00
外来植物除去作業 場所 ねいの里展示館集合

参加希望者はねいの里までお申し込み下さい。

■ 特別展示

7月 3日 ~ 8月 5日 富山県自然保護協会環境写真展

7月 13日 ~ 8月 20日 県内のカブト・クワガタ展 8月 7日 ~ 8月 18日 環境月間写真展

8月 24日 ~ 9月 23日 キリギリスのお宿 9月 4日 ~ 11月 24日 ねいの里キノコ写真展

■ お願い ■

- 「生き物ふれあい自然塾の会」会員募集中

皆さんのお知り合いで、ねいの里をよくご利用される方がおられましたら、自然塾の会への入会をお勧め下さい。会員の方にはねいの里会報「ふくろう通信」をお送りします。

- 会員の駐車場利用について

会員の方は、「ねいの里」行事への参加や施設の利用を前提に、ナチュラリスト駐車場を利用する事が出来ます。

発行 富山県自然博物館ねいの里館長 富永 宣宏

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>